

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書の訂正報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第4項

**【提出先】** 東海財務局長

**【提出日】** 平成25年8月13日

**【四半期会計期間】** 第42期第1四半期(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

**【会社名】** 株式会社ハマキョウレックス

**【英訳名】** HAMAKYOREX CO., LTD.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 大須賀 秀徳

**【本店の所在の場所】** 静岡県浜松市南区寺脇町1701番地の1

**【電話番号】** (053)444-0054

**【事務連絡者氏名】** 常務取締役執行役員管理本部長 山崎 裕康

**【最寄りの連絡場所】** 静岡県浜松市南区寺脇町1701番地の1

**【電話番号】** (053)444-0054

**【事務連絡者氏名】** 常務取締役執行役員管理本部長 山崎 裕康

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

### 1. 訂正の経緯

当社は、平成25年6月下旬に滞留債権の回収進捗について確認を行ったところ、過去の架空売上計上及び取引業者を利用した着服の疑いが生じたことから、平成25年7月12日付で調査委員会を設置し、調査を進めてまいりました。その結果、過年度の架空売上計上及び取引業者を利用した着服が行われていることが判明し、四半期連結財務諸表に含まれる不適切な会計処理を訂正することと致しました。

### 2. 会計処理

四半期連結財務諸表において過大に計上されていた「営業収益」及び「営業原価」を修正するとともに、架空売上・着服に係る債権の修正等、必要と認められる修正を行いました。

これらの決算訂正により、当社が平成24年8月9日に提出致しました第42期第1四半期(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)に係る四半期報告書の一部を訂正する必要が生じたので、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、訂正後の四半期連結財務諸表につきましては、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

また、四半期連結財務諸表の記載内容に係る訂正箇所については、XBRLの修正も行いましたので併せて修正後のXBRL形式のデータ一式(表示情報ファイルを含む)を提出致します。

## 2 【訂正事項】

### 第一部 企業情報

#### 第1 企業の概況

- 1 主要な経営指標等の推移

#### 第2 事業の状況

- 3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(1) 業績の状況

(2) 財政状態の分析

#### 第4 経理の状況

- 1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

#### 注記事項

(四半期連結貸借対照表関係)

(セグメント情報等)

セグメント情報

(1株当たり情報)

## 3 【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_\_\_を付して表示しております。

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第41期 第1四半期 連結累計期間	第42期 第1四半期 連結累計期間	第41期
会計期間	自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日	自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日
営業収益 (百万円)	<u>22,373</u>	<u>22,132</u>	<u>89,935</u>
経常利益 (百万円)	<u>1,605</u>	<u>1,747</u>	<u>6,552</u>
四半期(当期)純利益 (百万円)	<u>828</u>	<u>870</u>	<u>3,423</u>
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	<u>903</u>	<u>955</u>	<u>3,951</u>
純資産額 (百万円)	<u>25,528</u>	<u>29,129</u>	<u>28,382</u>
総資産額 (百万円)	<u>85,772</u>	<u>85,392</u>	<u>85,164</u>
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	<u>99.18</u>	<u>104.27</u>	<u>409.84</u>
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	<u>25.6</u>	<u>29.5</u>	<u>28.7</u>

(訂正後)

回次	第41期 第1四半期 連結累計期間	第42期 第1四半期 連結累計期間	第41期
会計期間	自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日	自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日
営業収益 (百万円)	<u>22,333</u>	<u>22,051</u>	<u>89,718</u>
経常利益 (百万円)	<u>1,565</u>	<u>1,665</u>	<u>6,336</u>
四半期(当期)純利益 (百万円)	<u>804</u>	<u>819</u>	<u>3,275</u>
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	<u>878</u>	<u>904</u>	<u>3,803</u>
純資産額 (百万円)	<u>25,230</u>	<u>28,657</u>	<u>27,961</u>
総資産額 (百万円)	<u>85,474</u>	<u>84,921</u>	<u>84,744</u>
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	<u>96.26</u>	<u>98.15</u>	<u>392.18</u>
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	<u>25.4</u>	<u>29.1</u>	<u>28.4</u>

## 第2 【事業の状況】

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

(訂正前)

こうした中、当企業グループの当第1四半期連結累計期間は、営業収益221億32百万円（前年同期比1.1%減）、営業利益16億94百万円（同5.3%増）、経常利益17億47百万円（同8.8%増）、四半期純利益8億70百万円（同5.1%増）となりました。

(訂正後)

こうした中、当企業グループの当第1四半期連結累計期間は、営業収益220億51百万円（前年同期比1.3%減）、営業利益16億12百万円（同2.8%増）、経常利益16億65百万円（同6.4%増）、四半期純利益8億19百万円（同2.0%増）となりました。

#### ①物流センター事業

(訂正前)

当第1四半期連結累計期間の営業収益は、105億87百万円（前年同期比0.2%減）、営業利益は、13億85百万円（同2.1%減）となりました。

(訂正後)

当第1四半期連結累計期間の営業収益は、105億6百万円（前年同期比0.6%減）、営業利益は、13億4百万円（同5.1%減）となりました。

#### (2) 財政状態の分析

(訂正前)

当企業グループの当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比2億28百万円増加し853億92百万円となりました。これは主に、新たに連結子会社の増加等により、流動資産が11百万円、固定資産が2億17百万円、それぞれ増加したことによるものであります。

(訂正後)

当企業グループの当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比1億77百万円増加し849億21百万円となりました。これは主に、新たに連結子会社の増加等により、固定資産が2億17百万円増加したことによるものであります。

(訂正前)

純資産につきましては、前連結会計年度末比7億46百万円増加し、291億29百万円となりました。これは主に、四半期純利益8億70百万円の計上と剰余金の配当による減少1億58百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の28.7%から29.5%へと増加しております。

(訂正後)

純資産につきましては、前連結会計年度末比6億95百万円増加し、286億57百万円となりました。これは主に、四半期純利益8億19百万円の計上と剰余金の配当による減少1億58百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の28.4%から29.1%へと増加しております。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

(1) 当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

(2) 当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

なお、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出しておりますが、訂正後の四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】  
 (訂正前)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,442	4,468
受取手形及び売掛金	※3 12,072	※3 11,924
商品	3	3
貯蔵品	132	126
その他	1,201	1,339
貸倒引当金	△ 36	△ 35
流動資産合計	17,816	17,827
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	23,700	23,450
土地	34,113	34,135
その他（純額）	3,997	4,211
有形固定資産合計	61,810	61,797
無形固定資産	1,981	2,096
投資その他の資産	※1 3,555	※1 3,670
固定資産合計	67,347	67,565
資産合計	85,164	85,392
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,161	6,076
短期借入金	24,708	25,159
未払法人税等	1,515	738
賞与引当金	546	534
役員賞与引当金	46	14
その他	4,590	5,227
流動負債合計	37,570	37,752
固定負債		
長期借入金	9,658	8,782
退職給付引当金	4,915	4,955
役員退職慰労引当金	348	373
その他	4,288	4,400
固定負債合計	19,211	18,511
負債合計	56,782	56,263
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,045	4,045
資本剰余金	3,951	3,951
利益剰余金	16,498	17,210
自己株式	△ 8	△ 8
株主資本合計	24,486	25,198
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△ 12	△ 23
その他の包括利益累計額合計	△ 12	△ 23
少数株主持分	3,908	3,953
純資産合計	28,382	29,129
負債純資産合計	85,164	85,392

(訂正後)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年 6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,442	4,468
受取手形及び売掛金	※3 11,369	※3 11,136
商品	3	3
貯蔵品	132	126
その他	1,483	1,656
貸倒引当金	△ 36	△ 35
流動資産合計	17,396	17,356
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	23,700	23,450
土地	34,113	34,135
その他（純額）	3,997	4,211
有形固定資産合計	61,810	61,797
無形固定資産	1,981	2,096
投資その他の資産	※1 3,555	※1 3,670
固定資産合計	67,347	67,565
資産合計	84,744	84,921
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,161	6,076
短期借入金	24,708	25,159
未払法人税等	1,515	738
賞与引当金	546	534
役員賞与引当金	46	14
その他	4,590	5,227
流動負債合計	37,570	37,752
固定負債		
長期借入金	9,658	8,782
退職給付引当金	4,915	4,955
役員退職慰労引当金	348	373
その他	4,288	4,400
固定負債合計	19,211	18,511
負債合計	56,782	56,263
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,045	4,045
資本剰余金	3,951	3,951
利益剰余金	16,078	16,739
自己株式	△ 8	△ 8
株主資本合計	24,066	24,727
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△ 12	△ 23
その他の包括利益累計額合計	△ 12	△ 23
少数株主持分	3,908	3,953
純資産合計	27,961	28,657
負債純資産合計	84,744	84,921

## (2) 【四半期連結損益及び包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
営業収益	22,373	22,132
営業原価	20,213	19,874
営業総利益	2,160	2,258
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	—	1
役員報酬	116	109
給料及び手当	139	134
賞与引当金繰入額	20	20
役員賞与引当金繰入額	12	12
退職給付費用	7	7
役員退職慰労引当金繰入額	9	16
その他	245	261
販売費及び一般管理費合計	551	564
営業利益	1,609	1,694
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	20	20
負ののれん償却額	50	50
助成金収入	14	34
雑収入	61	54
営業外収益合計	147	159
営業外費用		
支払利息	109	95
雑損失	41	11
営業外費用合計	150	107
経常利益	1,605	1,747
特別損失		
投資有価証券評価損	6	10
災害による損失	4	—
特別損失合計	10	10
税金等調整前四半期純利益	1,594	1,736
法人税、住民税及び事業税	646	734
法人税等調整額	39	30
法人税等合計	685	765
少数株主損益調整前四半期純利益	909	971
少数株主利益	80	100
四半期純利益	828	870
少数株主利益	80	100
少数株主損益調整前四半期純利益	909	971
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	△16
その他の包括利益合計	△5	△16
四半期包括利益	903	955
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	823	859
少数株主に係る四半期包括利益	79	95

(訂正後)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
営業収益	22,333	22,051
営業原価	20,212	19,872
営業総利益	2,120	2,179
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	—	3
役員報酬	116	109
給料及び手当	139	134
賞与引当金繰入額	20	20
役員賞与引当金繰入額	12	12
退職給付費用	7	7
役員退職慰労引当金繰入額	9	16
その他	246	261
販売費及び一般管理費合計	552	566
営業利益	1,568	1,612
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	20	20
負ののれん償却額	50	50
助成金収入	14	34
雑収入	61	54
営業外収益合計	147	159
営業外費用		
支払利息	109	95
雑損失	41	11
営業外費用合計	150	107
経常利益	1,565	1,665
特別損失		
投資有価証券評価損	6	10
災害による損失	4	—
特別損失合計	10	10
税金等調整前四半期純利益	1,554	1,655
法人税、住民税及び事業税	646	734
法人税等調整額	23	0
法人税等合計	669	735
少数株主損益調整前四半期純利益	884	920
少数株主利益	80	100
四半期純利益	804	819
少数株主利益	80	100
少数株主損益調整前四半期純利益	884	920
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	△16
その他の包括利益合計	△5	△16
四半期包括利益	878	904
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	799	808
少数株主に係る四半期包括利益	79	95

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

※1 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

(訂正前)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
投資その他の資産	33百万円	34百万円

(訂正後)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
投資その他の資産	48百万円	52百万円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(訂正前)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額
	物流センター 事業	貨物自動車運送 事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	10,613	11,760	22,373	—	22,373
セグメント間の内部売上高 又は振替高	118	425	544	△544	—
計	10,731	12,186	22,918	△544	22,373
セグメント利益	1,415	193	1,608	0	1,609

(訂正後)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額
	物流センター 事業	貨物自動車運送 事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	10,572	11,760	22,333	—	22,333
セグメント間の内部売上高 又は振替高	118	425	544	△544	—
計	10,691	12,186	22,877	△544	22,333
セグメント利益	1,374	193	1,567	0	1,568

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(訂正前)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額
	物流センター 事業	貨物自動車運送 事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	<u>10,587</u>	11,545	<u>22,132</u>	—	<u>22,132</u>
セグメント間の内部売上高 又は振替高	127	340	468	△468	—
計	<u>10,715</u>	11,885	<u>22,601</u>	△468	<u>22,132</u>
セグメント利益	<u>1,385</u>	306	<u>1,692</u>	2	<u>1,694</u>

(訂正後)

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額
	物流センター 事業	貨物自動車運送 事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	<u>10,506</u>	11,545	<u>22,051</u>	—	<u>22,051</u>
セグメント間の内部売上高 又は振替高	127	340	468	△468	—
計	<u>10,633</u>	11,885	<u>22,519</u>	△468	<u>22,051</u>
セグメント利益	<u>1,304</u>	306	<u>1,610</u>	2	<u>1,612</u>

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

(訂正前)

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	<u>99円18銭</u>	<u>104円27銭</u>
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	<u>828</u>	<u>870</u>
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	<u>828</u>	<u>870</u>
普通株式の期中平均株式数(株)	8,353,401	8,353,188

(訂正後)

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	<u>96円26銭</u>	<u>98円15銭</u>
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	<u>804</u>	<u>819</u>
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	<u>804</u>	<u>819</u>
普通株式の期中平均株式数(株)	8,353,401	8,353,188

# 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8 月 13 日

株式会社ハマキョウレックス

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 谷 津 良 明 ⑩

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 山 田 剛 己 ⑩

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ハマキョウレックスの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る訂正後の四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益及び包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

## 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

## 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

## 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ハマキョウレックス及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

## その他の事項

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、四半期連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期連結財務諸表に対して平成24年8月8日に四半期レビュー報告書を提出した。

## 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。